

「何ものも、起ころうとしていることを止めることはできない！」 — “Q”

「海兵隊による6万人の米指導者一斉逮捕」は、12月5日か！

Greatchain

2018/11/28

このところ、我々が連続して注目したアメリカの変事は、キャバノー米最高裁判事の異常な中傷事件、中間選挙の信じられない不正事件、カリフォルニア大火災の特殊兵器使用事件の3つだった。この3つはいずれも、狂気じみた、極端に恐慌を起こしているが、明らかに権力をもつ者たちがやったことは明らかである。それはアメリカに住みながら、アメリカに敵意を者たちであろうと推測することができる。

これらについての多くの記事の中に、私は、「キャバノーをめぐる醜態のすべては、トランプの“泥沼” 掃除決行の方向を向いている」という記事を挟んだ――

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/181003.pdf> 未読の方は読んでいただきたい。ここには、特に民主党内の、トランプやキャバノー最高裁判事を憎む者たちが、これほど必死になるのは、彼らがやがて「泥沼」の一員として、逮捕されることを恐れているからだ、ということが説明されている。

この記事には、トランプとその周囲に結束した者たちは、この計画を周到に計画しており、国家反逆者たちを裁くのに軍事裁判が用いられ、一時、戒厳令が敷かれると書かれている。通常は司法機関が用いられないのは、それ自体が腐っていて、役に立たないからだと言っている。しかし、それがいつになるかは言われていなかった。

それから2か月にもならない、ごく最近、Marines to Arrest 60K US Leaders (海兵隊が6万の米リーダーを逮捕の予定) という記事がネット上に現れ、更にその直後に「12月5日」(D5) という日付を、自信を持って予告する記事が現れた。これはホワイトハウス内の、Qと名乗るインサイダーの情報で(この人物については前に取り上げたことがある)、この表題は彼の言葉である。これだけ大量の人物を逮捕するのに、どれだけ時間がかかるのかという問題については、「48時間以内」と言っていたと思う。

前者の記事はある牧師によるもので、かなり長大なもので、訳すことはできないが、非常に重要なことを言っている。私がこのウェブサイトで取ってきた哲学や歴史観は、基本的に彼のものと一致する。つまり今起こっていることは、善悪闘争、神と悪魔の闘争であって、事態はますます悪くなりながら、良くなっているとも考えられる、と言っている。これは我々を覚醒させるためだと、この牧師さんに限らず、このあたりの多くサイトが、考えているように見える。「祈る」とか「祈れ」という言葉がよく使われている。今起こっていることはあまりにも異常、霊的なものが動いているとしか思えない。これはもちろん、トランプが神のように偉いということではない。神の側で使われているということである。

この牧師は Q の情報を根拠にしているが、4 人の現代の預言者も、ほぼ同じことを言っていると言っていた。また、2020 年か 2021 年が、アメリカの滅びる年だと言っているが、これは予言ではないから誤解しないように、と念を押している。2020 年は、1620 年という、メイフラワー号が米大陸に渡った年から、400 年であり、400 年という区切りは、歴史的なサイクルとして意味があるといわれる。とすれば、今、どういうことが起こっているか？ アメリカという国が小さな種として生じて以来、土着民の殺戮を重ね、奴隷制度を導入し、1776 年という独立の年と全く同時に、この国は、イルミナティという共産主義サタンに取りつかれ、陰險なウソと騙しによって世界を神から奪おうとした。しかしそれは「純粹悪」すなわちサタン信仰という、その本質を暴露されて、今、崩壊しようとしている。

しかし、これは“我々人民”のアメリカでなく、アメリカを乗っ取っていた“グローバリスト”の崩壊だから、崩壊と同時に再生が始まるのは当然だろう。それは、もしトランプが失敗して、逆に、国家犯罪者として弾劾裁判にかけられなければ、すぐにも始まるはずのものである。今、トランプとその支持勢力は、のるかそるかの微妙なタイミングを選ばなければならない。そのためにはホワイトハウスは、disinformation（故意のニセ情報）を使わなければならないと言っている。それはそうであろう。これを指摘してトランプを非難するような、愚かなことをしてはなるまい。

その歴史サイクルの終わりの始まりが今、始まろうとしている。摘発されるのは、ベドフィリアや子供売買犯といったサタンの重罪人、その他の深刻な腐敗した犯罪者たち、国家反逆者として大統領に背き、アメリカを滅ぼそうとした者たち、そういったアメリカ国内の犯罪者が、6 万とか 6 万 2,000 とか言われている。

そのような者たちの一斉逮捕が、あと 1 週間の 12 月 5 日に行われるとすれば、我々は戦慄を覚えざるをえない。と同時に、どうなるか予想はできず、特にメディアが報じることに惑わされてはなるまい。